



学校だより

令和4年 6月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/>

尼崎市立浜田小学校 校長 仁科 良久

試行錯誤の大切さ

今年は、梅雨入りが早まりそうだとの知らせが入り、天気予報の確認が必要な時期になりました。

先日、5年生と一緒に自然学校に行ってきました。今年度は、2泊3日の日程で美方高原自然の家に行ってきました。天候に恵まれ、ツリーイング（器具を使っての木登り）や星空観察、キャンプファイヤーなど、すべての日程を素晴らしい天候の下で、行うことができました。

自然学校中の子どもたちを見ていて、強く実感したことがあります。それは、「試行錯誤することの大切さ」です。試行錯誤とは「新しい物事を行うとき、チャレンジと失敗を繰り返しながら、次第に見通しを立てて、解決策や適切な方法を見出していくこと」です。そして、自然学校の3日間、子どもたちは様々なチャレンジを行い、失敗を繰り返しながら、目を見張るスピードで成長する姿を見せてくれました。

コロナ禍において、学校教育も多くの行事や学習を断念せざるを得ない状況が続いてきました。その中で、必然的に「新しい物事を行おうとすること」「試行錯誤を行う機会」が、子どもたちから失われてきました。

一方で、試行錯誤の機会を失っていたのは、我々教員も同じだということに気づきました。子どもたちに課題を与え、その解決への道のりを支援していくことが、教員の大きな役割です。しかし、行事の自粛等の影響で、我々教員自身もその機会を失い続けてきたのです。2泊3日、合計50時間以上の時間を子どもたちと生活を共にすることで、子どもたちの新しい一面や、新しい指導、支援の形を、我々教員自身が試行錯誤することができ、その大切さを実感できたことも、大きな成果であったと感じています。

アインシュタイン博士は「教えるということは、こちらが差し出したものがつらい義務ではなく、貴重な贈り物だと感じられるようなことであるべきだ」と言われました。

自然学校での経験を糧に、今後も教育活動に励んで参ります。一層のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

「おはようございます！」元気なあいさつで1日が始まります。朝の会で、お名前を呼ぶと、「はいっ！元気です！」「はいっ！今日は外で遊びたいです！」など、とてもかわいい反応を返してくれます。朝の準備の時間、掃除の時間は、なかよし学級の6年生がやさしくサポートしてくれています。そんな6年生には、折り紙でこのぼりの作り方も教えてもらいました。2年生との活動「てとてとくらぶ」では、2年生にいろいろなことを教えてもらいながら学校探検をしました。6月末には、一緒に神戸どうぶつ王国に遠足に行く予定です。そして、今月は初めてのはまだっ子カーニバルもあります。何もかもが初めての体験です。これからも、いろいろな活動を通して、友だちとなかよく協力することの大切さを学び、大きくのびのびと育ててほしいと願っています。

コロナ禍の中ですが、安心安全に学校生活を送ることができるように留意し、様々な学習活動を行っていきたいと思います。引き続きご支援ご協力をお願いします。

1年担任一同

6月の行事予定

月	火	水	木	金	土
		1	2 修学旅行	3 修学旅行	4
6 朝会 歯科検診 (5年) SC 定時退勤日	7 避難訓練(予備)	8 委員会活動 歯科検診 (3年)	9 代表委員会 耳鼻科検診 (4・5・6年)	10 校外児童会 (6校時)	11
13 定時退勤日	14 脊柱側弯症検診 (5年)	15 クラブ活動 (発足)	16	17	18 はまだっ子カ ーニバル オープンスク ール 引き渡し訓練
20 代休日	21 尿検査(再検査) SC 水泳指導	22	23	24 遠足 (1, 2年)	25
27 SC 定時退勤日	28 水泳指導	29 クラブ活動	30		

※SC・・・スクールカウンセラー来校日